



第15回UTA会風景

■幹事長の挨拶

久保明子

新緑の美しい季節になりました。寒暖の急変にも関わらず木々の芽吹きは今年も変わりなく自然を感じさせてくれます。でもテレビで流れるニュースは未経験な情報ばかりで、いつ何が起

きても不思議ではない昨今、心も揺らされ、先も見えない現実ですが、それでもゆったりと暮らしていただけることは少しでも学べたお陰でしょうか。

そんな毎日ですが、うれしい便りもあります。最近のことで、電話の向こうの未だ見ぬ友から、UTAブックさんから出ている殆どの本を取り寄せ読まれ、今回、学べる機会を得られた喜びを話され、私までがうれしくなりました。そして五月のセミナーを心待ちにしている方からは、学びを知ったのは十年ほど前ですが、これから実際に学びを始めたとい、うれしい連絡がありました。また、三月の「磁場と反転」出版記念セミ

ナー以降に電話があり、一度もセミナーに参加していない方が既にUTA会員に申し込まれ、愛の文字にも触れ、ホームページも見て勉強している等、そのような方々も加わって会員数も増えてきています。今後、新たにあっていくUTAの輪で、これから学んでいこうとする新しい方も、長年学び続けてこられた方々皆で共に、共に、学んでいけることを切に思うこの頃です。

「磁場と反転」出版記念セミナー以来、三冊のブックカバー付きの本を手に感動も冷めない今、また、数々の愛の草書体入りの品々が身の回りに届き、どこを向いても愛の文字に囲まれている環境になりました。意識の学びもそうですが、肉の上で

も本当に至れり尽くせりの学びですね。そして、今では日本の各地域でのスカイプ瞑想会も、どこにいても皆で共有でき、学びの速さもさることながら学びの環境も一変するものです。今度はアメリカのニュージャージーでのスカイプ瞑想会も、日本にいながら共に学べるのですから凄い時代です。

毎日があつという間に過ぎていく時間の中で、私は母の介護をさせてもらいながら気付きの機会をもらっています。母と共に学べる日がどれだけ残されているか分かりませんが、今ある環境が有り難いです。もうすぐ五月のセミナーですが、凄いセミナーになってくるようですね。初参加の方も交えて皆様の参加を楽しみに待っています。

UTA会風景

■第十四回UTA会の開催状況

二〇一二年十二月九日から十一日まで、琵琶湖グランドホテルで第十四回UTA会が開催され、約七百七十名の会員が参加されました。

今回は資料の他に、裏に五訓が印刷されたラミネートの草書体の愛の刻印が入ったボールペン、愛のコースターセット、実験用の白紙などが配布されました。

初日は久保幹事長の報告に続き、田池先生が「今回は愛の勉強をしますのでお配りした資料や道具へグッズVをよく確認してください。また

事前に告知した相談券は受付の箱に入れてください。今回は資料の一番最後の頁を参考にやります。皆さん何のために生まれてきたのですか。本当の自分と会うためです。本当の自分とは愛なんです。今回はその愛の勉強をします。心には二つあるんです。目に見える世界が本当だと思っ

っている人は暗い人です。目に見えない世界が本当だと分かった人は明るいのです。これから愛の勉強です。この愛は私の中にある。ということ。皆さんの中にある。しかし、皆さんはそのことを信じていない。私は信じている。私はあなた、あなたは私、一つと言っているそこを皆さん、まだ理解できない。瞑想で闇がどんな出る。いいんです。闇と言うのは本当の自分を知らないから出るんです。肉が本物と思う心が闇なんです。

す」などと愛を強調されて実習に入った。資料の八ページに従い、「草書体の愛のカード」や水道水、愛の刻印が入ったボールペン、田池先生のラミネート写真などを使い、指名や希望者あるいは会場全体が参加して、様々な形でのオーリングや瞑想が繰り返し行われました。具体的には資料八ページに記載された八項目の実習が手際よく行われました。やり方は「愛のカード」に触れる、見る、思つてオーリング。また反転、転写も行われた。最後に愛を見て瞑想するのが今回の目的と強調されて会場全体で行われました。そして塩川さんの「今日の総括です」というメッセージが会場に流れて初日を終えました。

二日目は午前中は瞑想・親睦の時

間で各自がそれぞれの場所で過ごされました。

午後からは先生が昨日の復習というところで、配布された資料や道具グッズの使い方を改めて説明されました。特にハラミネートされた草書体の愛のカードは「あなた自身なんですよ」と強調されました。「この愛のカードに触れて、見て、思つて瞑想を続ける。それがこれからの皆さんの人生の仕事だと思つてください」と話されました。その後、来年、再来年のセミナーについての方向についても触れられ、「このようなセミナーは予定より回数を少し減らします。その分スカイプ瞑想会などを考えています」と言うことでした。

その後、早速実験、実習に入りました。まず、先生の写真のカードを見る瞑想ということで、八名の方が

指名され、瞑想の実習が行われました。そしてその写真のカード三十枚を先生が会場を回って希望者に配られ「お部屋の皆さんで瞑想してください」とコメントされました。

事前に条件付きで配布されていた相談券の抽選が始まり、最初の十名が前に出られた。愛を思う瞑想の後、それぞれがワンポイントの質問をされ塩川さんのメッセージがありました。

その後、会場全体で愛に向けての瞑想が行われました。そして、何人かが手をつないで、波動が伝わる勉強なども行われ、指名されて前に出た方達に塩川さんのメッセージが伝えられました。

さらに「愛が伝わる実習」と言うことで、「愛のボールペン」や「愛のTシャツ」「愛のコースター」「セ

「ミナー資料」などを使ったオーリングが行われました。

そして最後に相談券で選ばれた十名が出られて、ワンポイントメッセージを受けられました。

三日目は、始まる前にUTAブックの桐生さんから今後のスカイプ瞑想会のお願いがありました。勉強が始まり、先生が「これから相談券で残りの三十名の方をやりますが、出ている人だけの勉強ではなく、参加されている皆さん全員の意識に語りかけているんですよ」と話されて、三回にわたり十名ずつが抽選で出られて、ワンポイントの質問と塩川さんのメッセージ、加えて先生の適切なコメントが加えられました。「とにかく、瞑想をこつこつとやってへお母さんの温もりVを感じることに

最も大事ななんです。そうすれば闇がどんどん出てくる。それを一つ一つ反転していくんですよ。今回お配りした△愛のカードVを使って、瞑想をしつかり続けてください」というコメントでしめられ今回のセミナーが終了しました。

■第十五回UTA会の開催状況

二〇一三年三月十七日から十九日まで、琵琶湖グランドホテルで第十五回UTA会、『磁場と反転』出版記念セミナーが開催され、約八百名の方々が参加されました。

今回は昨年秋に出版された『磁場と反転』出版記念セミナーとして開催され、会員以外も出席できるというところもあり、通常時に比べて参加

者が増大しました。当日は出版記念ということもあり、特別の袋に入れて「小冊子・UTAの輪」「その人、田池留吉シリーズ三冊」「セラミックスの手鍋」「フェイスタオル・セット」が配られました。グッズ類には草書体の「愛」が刻印されており、参加者には嬉しいプレゼントになりました。

また、資料にも記載されていましたが、あらかじめホームページで、予習と言うことで、「新刊・磁場と反転」や「五訓」などから「愛のエネルギーギーと反転」をテーマに瞑想、反省、実験を自学自習してセミナーに参加するように勧



められていました。

初日は久保幹事長の挨拶、報告に続き田池先生が「今後の展開ですが、前からご案内しているように平成二十六年十二月までのセミナーまでは私は出席します。しかし、その後はスカイプ瞑想会以外は出席しません。ただ、今考えておりますのは、私の主催で△自問自答会▽というのをやるつもりです。参加人数もわずかにします。それが私の最後の仕上げと言うことになります。という事で、今回は瞑想と反転、そして先ほど申し上げた自問自答をやります。とにかく、重要なのは瞑想と反転ですよ。どうも、皆さんが今おやりになつてきているのは、ちょっと違う気がするんです。今日お配りした小冊子をしっかり読んで、このセミ

ナーでそれを少しでも修正していただけだと思います。それから自問自答、全部自分に聞いたらいい。人に聞くからおかしくなる。自分の生き方は自分に聞くんですよ。だから田池留吉のメッセージなんです。とにかく瞑想をどんどん続けてください。継続は力なりです」などと話され、瞑想がうまくできないで数人出られたあと、事前に告知されていた十回以上メッセージを受けていて二十年以上の人から、五年以上二十年未満、さらに五年未満と区分けて、抽選で十名ずつ出られて塩川さんのワンポイントメッセージの勉強が行われた。

二日目は午前中は瞑想・親睦の時間で各自それぞれの場所で過ごされました。

午後からはU T Aブックのお知らせに続き、田池先生が「昨日の復習ですが、この小冊子△U T Aの輪▽を活用してください。目次を読むだけでも勉強になるんです。小冊子の最後にも触れましたが、草書体の愛の文字と五訓を最大限に活用してください。と同時に、お母さんの反省が一番大事です。あわせてお母さんを思う瞑想、ゼロ歳の瞑想を毎日励行してください。量が質に変わるんです。早く分かってもらうのは欲ですよ。田池留吉のメッセージを受けるのも続けてください。それは、あなた自身があなたに答えているのです。自問自答ですね。それが自己確立への道であり、次元移行の前提なんです」など話された後、瞑想の実践が始まった。

まず、七十歳代で「気力体力の衰

えている人」で五十名以上が出られてゼロ歳とお母さんの瞑想の後、十名近い人がピックアップされ、塩川さんのワンポイントメッセージを受けた。同じ要領で六十歳代が呼ばれると、円の内外の区別ができないほど多数が前に出られた。休憩の後、「今度は田池留吉に心を合わせる瞑想で、六十五歳以上で七十歳未満の人」で五十人以上が出られた。次いで同じ瞑想で七十歳以上、六十歳以上六十五歳未満などと主に六十歳以上の人たちに絞って多数の希望者が前に出て、それぞれピックアップされた方へワンポイントメッセージが行われました。実践を通しての先生の感想の後、最後に全員で「田池留吉に心を合わせる瞑想」が行われて二日目が終了しました。

三日目は先生が「皆さん初めから幸せ、喜びなんですよ。不幸は全部自分の責任です。自分の思いが現象化しているんです。本当の幸せを知るために生まれてきたのです。その流れが次元移行なんですよ」と話され、昨日に続き六十歳以上の各世代ごとに瞑想と反転の実践が行われた。「お母さんの反省、田池留吉に針を合わせる。そして闇が出てきたら反転してください」で多数の方が前に出られ、闇出しとともにピックアップされた方々が塩川さんからワンポイントメッセージを受けました。最後に先生が「私は皆さんの思いを代弁しているんです。私はあなた、あなたは私、一つです。自分を救うのは自分しかありません」と結んで、全員で瞑想を行ってセミナーがすべて終了しました。

会員からのお便り

このコーナーは、皆様とUTA会を繋ぐページです。皆様の体験談や手記、ご意見などを、お気軽にお寄せください！

■体験談

▼田池先生との出会いから

滋賀県 美舟登美子

二〇〇九年頃から学びの話をしてくれてた福岡の方から二〇一〇年の十二月に「意識の流れ」の本を渡され目を通しました。ふっと田池先生に会って見たいとの思いがわいてきて翌年（二〇一一）五月のUTA会の参加を決めました。そして、UTA会の会員登録をさせていただいた頃からです。私の中から「時間が足りない、早くしないと、早くしない

と、早くしないと…」という思いが繰り返しわいてくるのです。いった

いこの思いはなんだろうか？ と思いつつも日々の生活に追われ過ぎていました。そして、セミナーの参加費を納めた頃から生理が止まらず体調不良のまま、第六回UTA会セミナーに参加しました。二日目のトイレ休憩の時でした、田池先生がトイレから出てきた私の歩く姿をずっと目で迫られていることに友人と気付きました。なぜかなあ？ セミナーは終了し、田池先生ご夫妻、塩川さんをお見送りさせていただき、帰宅の途に着きました。しかし、その時の田池先生を今でもはつきりと思いつけるんです。ずーっと見られていたことが私には不思議でした。その十日後に成人病センター婦人科に受診し検査の結果、子宮ガンが見つかったのです。それから、私の想像を絶する生活が始まりました。

六月二十四日MRI・血液検査。七月一日CT検査。七月十二日糖尿の結果が悪いのでガン治療より先に糖尿病の治療で入院。八月一日退院。八月二十六日ガン治療のため入院。八月三十日ガン手術。子宮、卵巣全摘出、リンパの切除、リンパは瓶二十本。九月九日からは抗がん剤治療を始める。

すぐに抗がん剤の副作用で指の先からミンチ機にかけられたような、肉を切り刻まれたような痛みがずーと全身に走り、次の抗がん剤治療まで続くのです。十月七日抗がん剤治療二回目。十一月二日腸閉塞で救急で入院。十一月十日抗がん剤治療の三回目が終わる。そして、あまりの

苦しさに四回目の時にはもう死んでもいいから抗がん剤治療はやめたいと泣きながら先生に訴えました。髪もすっかり抜けていました。十一月十五日退院。十一月二十三日腸閉塞再発で救急入院。十二月八日・十五日・二十二日、四回目は副作用がひどいので一回分の抗がん剤を三回に分けて治療することとなりました。十二月二十八日退院。H二十四年一月十三日・二十日・二十七日抗がん剤治療の五回目（一回分の抗がん剤を三回に分けて治療する）。二月四日膀胱内出血で救急入院（意識を無くして家で倒れる）。二月五日膀胱内出血の処置で手術、急遽リンパ液が溜まるため全身麻酔に切り替えてひき続き手術（以前に切ったお腹の傷と同じところをもう一度開腹手術しました）。

新たに年も明け、抗がん剤と手術・再手術、入退院の繰り返しなのかな、二月七日でした。朝からすごく穏やかな何とも言えないゆったりとした気分で、個室でひとり居るとき何を思ったのか、私、もうこれで田池先生に会うことも声を聞くこともないのかな：最後なんかな：お礼も言っておきたかたなあ：と思いながら、すでに携帯電話は先生宅をコールしてしまいました。昨年初めてUTA会に参加をさせていただき一回で終わっただけ、癌が見つかり、肉體細胞から流れる愛を感じ、すべて私たちは永遠の意識ですよと伝えていただきました。心から御礼が言いたかったです。今世、出会わせていただき、真実を伝えていただきました（ほとんど無意識だったように思います）。

田池先生は一回しか参加したこ

とのない私の話をじーつと聞いて下さって、最後に「頑張つて下さい」とひといいつて下さり、話は終わりました。そしてそれから不思議なことが起こりました。

今から起こることなど、だれが予想したでしょう。まさか本当に死ぬ寸前まで行くとは思いませんでした。電話の直後、腎臓から管を通して袋を着ける手術(約三十分位)を終って、先生が病室に戻つてきた私を見て「簡単に終わって良かったですね」と言われ、十分程したときです、下からドバー、ドバーと出血し出したんです。私はその時パニック状態になり看護師から「落ち着いて下さい！落ち着いて下さい！」と強めの口調で言われたのを覚えています。動脈が破裂したようです。この時、私は何が起こっているのか分からなかつ

たけれど、もう駄目だと思い横に居た主人に最後のお礼を言わないと…と顔をずっと見ていたのを覚えてます。それから病院の救急救命室に連れて行かれ、すごく長い間処置もされず、出血したままベッドに寝かされていきました。だんだん気が遠くなつていくなか、私もう死ぬのかなあ…ああ、これが死ぬっていうことなんかな…：…て思っていました。ほんとに死んでもおかしくない状態であつたみたいです。なぜなら、その後に何度も「九死に一生を得ましたね」と先生が顔を見るたびに言われるんです。そして、後で聞いた話なんです、その日は日頃いらっしやらない先生方がたまたま、その時にいらっしやつて総出で処置をなさつたそうです。あと十分出血が遅く、救命室に運ばれるのが十分遅れ

ていたら、その時はスタッフ（先生方）がみんな帰ったあとで処置はできず、多分その時に亡くなっていたんではないでしょうか。（出血多量にて）。二月二十四日抗がん剤治療六回目。五日後退院。三月二日・三月九日通院にて抗がん剤治療が終わりました。六ヶ月間にわたる抗がん剤治療が終わりました。

三月十八・十九・二十日第十回U T A会にこれから二回目の参加です。お腹のリンパ液がパンパンに溜まり、歩くのが精一杯でした。一番後ろで横になり、三日間を過ごし、私は嬉しい思いでいっぱいでした。ここに、こうしてまた来れたんです。あの時、生死を彷徨い、二度と参加できない私が今、こうやってここにいる。嬉しかった。本当に嬉しかった。ありがとうございます。……セ

ミナーから戻った翌日の三月二十一日救急で入院、リンパ液が大量に溜まり、抜くしかありません。入院して三回抜いて貰いました。五月九日リンパ液は完全に抜け切っていないけれど退院をしました。そして、五月二十七・二十八・二十九日第十一回U T A会に三回目の参加。お腹のリンパ液はパンパンです。

七月二十九・三十・三十一日第十二回U T A会に四回目の参加。お腹のリンパ液はかわらずパンパンです。九月二十三・二十四・二十五日第十三回U T A会の五回目の参加。リンパ液はすーっと引いてすぐ楽になっっていました。十月二十五日に婦人科外来受診、癌再発。十二月のU T A会を前に癌、再発の告知です。そして十一月から再び抗がん剤治療のスタートです。しかし今は淡々

とタイケトメキチの磁場・反転、そして、愛の草書の波動で母さんと、そして肉体細胞に使った心を毎日、しっかり見てまいります。

ありがとうございました。

▼磁場について

東京都 興口 博

尽きることのない温かな思いの中に、個性を持った私達がいます。みんなアルバートの意識です。

けれど、自他を区別し私を認めろ、己をあらわす心をふくらませてくるに従って、アルバートの心から離れていきました。

最初はアルバートの心そのものの私達でした。磁場とはアルバートの

心、反転はそのことに気付きアルバー
トの心、お母さんの温もりに帰るこ
とだと思いました。

▼反転体験 電気器具一から四

奈良県 平松直美

その一、今日七日反転の体験をし
ました。今年買ったばかりの電気
スイッチのひとつが押しでも入らな
くなったのです。新しいのにこんな
に早く壊れるとは思わず、意識のせ
いかなと思いました。保証期間内
ですが、電気屋に持っていくのも面倒
なので、反転でもしてみようか、と
しましたが、それでもスイッチは入
りません。しばらくやってみようと
数回してみたら、入りました。愛の
文字は使わずに、田池留吉の磁場に

向け反転をしたのです。電気器具や
機器の反転の体験は今までもあった
のですが、セミナー前ということも
あって、うれしかったので、載せま
した。

その二、スイッチの反転の体験に
続き、ほつとニユースです。天井か
ら下げている電気が大きい輪はつい
ているのに、輪の小さいほうが消え
てつかなくなりしました。もう電球の
換え時かもしれないので、新しく付
け替えようと思っていたので、反転
する気はなかったのですが、もしか
したらという気持ちで、磁場、反転
をしましたが電気はつきません。三
回ほど反転しましたが、だめでした。
だから買い換えようと思っていたの
に、今朝ふと気がつくといっている
のです。電気が消えたことも肉の常

識で捉え物理的な原因だろうと思っ
たことも早急な判断でした。「反転の
エネルギーはあるんだよ」というこ
とを七日の日の体験に引き続き、教
えてくれたような気がしました。反
転によつて消えていた輪がついて明
るく灯ったというのが、何かを象徴
しているみたいでうれしいですね。
大きい輪はさしづめ、田池留吉か
な。

その三、昨日に引き続きほつと
ニユースです。つくようになつた小
さい輪の電球がまたまたつかなくな
りました。買い換えるかどうかは様
子を見ようと思つて、十回ほど反転
しましたが、つきません。電球じゃ
なくて、照明の方が悪いのかもしれ
ないと、他の電球にかえたのですが、
同じようにつかないので、照明自体

が悪いから買い換えるしかないと思
いました。そう思っていた矢先、大
きい輪の電気だけがついていたのに、
小さい輪の電気が突然につき、見た
ら、今度は大きい輪の電気が消えた
のです。

あまりの展開に笑ってしまいました
た。大きい輪は田池留吉じゃなかっ
たみたい。(ハハハ)

これは間違いなく、意識のせいだ
と思えました。反転をしばらくやっ
てみようと思います。

その四、その後の報告です。たっ
た今しがた、うれしいことに早速つ
きました。反転を三回ほどして、いつ
たん消してスイッチを入れると、大
きい輪も小さい輪も無事につしまし
た。反転のエネルギーが働いている
ことを信じていきます。

▼私の体験

大阪府 満尾徳二

八十八歳にして母親の温もりが分
かり幼な子に返り生まれて初めて感
謝の反省瞑想が出来ました。

勿論母親に対する反省瞑想は大げ
さかも知れませんが、毎日行なっ
たとは雖も^{いよ}忝から自分の心に温も
りを感じての反省瞑想ではなかつた
と思います。今から思うと空疎なもので
事務的なもの^としか思えません。学び
の初めは掴みどころがなかつた学び
でも二十数年も学びの座に座れば、如
何に愚かな者でも曲がりなりにも学
びのよさが分り実践出来るようにな
りました。遥かに学び始めたころに思
いを致せば感無量のものがあります。

私は自分では初めから真剣に取り

組んできた積りですが、如何せん学び
の真理を理解するのが難解でお粗末
過ぎました。法律を理解する程度なら
出来ても心の真理はそうはいきませ
ん。長い間その理解と心の底に累積し
た闇を吐き出すのには、並々ならぬ苦
労をしてきました。口で言うほど簡単
なものではありませんでした。学びの
基盤の出来た現在この道に入られた
方は、幸せですんなりと進められて結
構ですが、初めから取り組んだ先生を
はじめ皆さんは大変でした。

遥か以前から積み重ねて来た闇の
思いは、思うことを飛び越え心のす
べてが闇ばかりで鬱積^{うっせき}していたのが
紛れもなく私の実態でした。所謂す
べての思い行動が肉を基準としたも
のでした。世間の流れは常識、教育、
政治、行政、すべてが闇を闇とも知ら
ず、それを最上の常識として形作って

います。恐らくずっとこの闇の常識が続いていくことは間違いありません。みんな肉を基準としたこの姿がすべての政治、行政、教育等々で続くことでしょう。幾ら私一人が叫んでもどうにもなりません。

このことに気付くには田池留吉が言われる天変地異しかないというのが芯から分かってきました。何物も残さずすべてを失う天変地異は、恐ろしいものですが、いざ起こったら大変です。

しかし、これこそ大喜びだと言うことが、お粗末ですが芯から信ずる思いになったのが私です。初めの頃は天変地異が喜び、そんな馬鹿なことを言っても誰も承知しないわと、心から思っていた私です。

しかし、学びの座に居る間にこの思いはすっかり変わり、天変地異しか

あり得ないことに納得しました。それ程に私たちの心は闇に支配されながら、全くそのことに気付かない人間になっていました。その闇を大きな喜びで包み込んでいくために学びをしていることも分かってきました。しかし、この切り替えは容易なものではありません。積年に亘る心の闇はこびり付き、機会があれば何時でも正体を現さんとしています。田池留吉以外はすべてその危険性を持っています。

己一番を終始發揮し生活してきた私など最も注意せねばならない人物です。幸いにこの学びを知ったお陰で、優しさとぬくもりの母の存在を知りました。学ぶ前までは母親など学もなく風采もあがらない恥ずかしい母と、真剣に思っていました。恐るべき肉の思いで肉の母親を見ていた典型的な闇の私でした。本当に母親に対し

謝つても、反省懺悔しても済まない私でした。

学びに接しなければこのまま一生終る所でした。今思えば奇跡の奇跡、ぞっとする私の人間性でした。この田池留吉に巡り会えたのも、母親の優しさと温もりがあったからと心から思います。このようにして学びを始めてから二十数年を振り返って見られるのも、本当に感極まるものを覚ええます。文章も常識もないままに書き並べましたが、私は幸せ者だとつくづく思います。

八十八歳、二十余年間学ばせて貰いようやく母親のぬくもりを心底から知り得た現在の心境を綴ることができ、私は心から幸福な男だと思えます。

つまらない手記ですが、このくらいで終わります。有難うございました。

▼「宇宙」と思つての瞑想

アメリカ ウォーレル直子

今朝の瞑想で恐る恐る「宇宙」に心を向けた。パーツと、白い光の中に包まれている自分を感じた。その光が、背後にどこまでも広がって行くのを感じていた。今までにも何度かは感じてきた体験だったから、「本当の光？」と驚き半分、喜び半分の中に、しばらく、ひたっていたが。

しばらくして、ふと、私の中から「これは、いくら？」と尋ねている自分があった。すると、すかさず「四千万円」(四百万円？) だったか確かでない。兎に角、私にとつては多額の金という価格だけがはつきりとあつた)と、聞こえてきた。「へー！本物の光はお金では買えない筈なのには？」

と、自分が問うていた。すると、即「お前、わしを見破りよつたか！くそ！」と、自分の中の「空海」と名

乗っていた念力坊主の意識、私をずっと操っていた過去より鎮座していたと思われる意識が、つぶやいたのが聞こえた。その意識が、過去世の数々も、今世の自分も、パワーを求めてきた意識達を操っていた「空海」と、私の中で名乗る意識だったと感じた。

田池留吉氏が、常々、言われてきた「似て非なるもの」の正体が、正しく、私の中で、はつきりと、初めて気付かされた。自分との対話を瞑想で進められている所以だと、今、納得させられる。「瞑想でしか、真実は分からない」ということも、改めて、今、やっと、納得する。初めて「自分の心でしか、真実は分からない」ということも、今、少し、体験上、

明らかになり始めた！ 貴重な心の体験を、ありがとう。

■最近頂いたメールより

京都府 Nさん
UTA会の役員の皆様 お疲れ
さまでした。

「第十四回UTA会の録画を配信しています」の文字を見て思わず涙がこみあげてきました。

こんなに早く見せていただけると、嬉しくて、嬉しくてありがとうございます、ありがとうございますと言いたいが出てきました。今から早速見せていただきます。

本当にありがとうございます。

メッセージ

UTA会のホームページに掲載しています『私はあなた、あなたは私、一つ』のメッセージ、九四から九九までです。

九四 先日スカイプ瞑想会でもお伝えしましたように、草書体の愛を活用してください。

そして、そこから来るエネルギー、波動の世界をご自身の心で体験できる瞑想を重ねて、十二月のセミナーにご参加ください。

そこから来ると表現しましたが、それはあなたの外から来るという意味ではありません。そこどころが、ご自身の心で分かることが肝要です。また、「意識の転回」、「宇宙の風」、「母なる宇宙とともにI、II」、そして「磁場と反転」、これらの本をしっ

かりと読んでください。

それも、ただ読むだけではなくて、その都度必ず瞑想を入れてください。読みつばなしではなく、瞑想をしてその日のお勉強を終えてください。

そのように自宅学習を重ねた上で、セミナー会場に來られるならば、はつきりとした明確な意思のもとで来てください。

先日の瞑想会でお伝えしましたが、このような肉を持って地球上で生息できる時間はもうあまりありません。次元を超えていくことができない意識達は、さ迷い続けます。

それがどういうことなのか、本当にそうであるのか、どうぞ、それぞれの心で感じていけるようになってください。

感じていけば、学びに対する姿勢は自ずと変わっていきます。

必ず自分を次の転生に繋いでいきますという明確な思いが響いてくるからです。自分のことは自分で、そんな思いで今世の学びを遂行していきましょう。

九五 十二月のUTA会セミナーに出席される方には、すでにお知らせの通り、セミナー資料の他に、ボールペン、コースター、五訓が手許に届けられます。それぞれに草書体の愛が入っています。それらを使ってのお勉強をまずしてください。セミナー会場はもちろん、それぞれの部屋でも、互いに試みて、オリンピックテストに慣れてください。その際、オリンピックを作る指先に力を入れないでください。親指と人差し指の腹を合わせず、爪先を合わせようにして

ください。腹を合わせば指に力が入るからです。そのようにして、オリジナルテストを何度もして、それに慣れてください。

そして、セミナー会場では、最も大切な瞑想を、どうぞ、存分に体感してください。瞑想を通して、反転力アップを心掛けてください。

愛に触れて、愛を見て、愛を思う瞑想。そこから宇宙へどんどん心に向けていく瞑想。私は楽しみで、楽しみで仕方ありません。

思うだけで嬉しくなります。その時間と空間をいただけることに感謝です。

どうぞ、セミナー会場で体感、実感して、その成果をご自宅へ帰って帰ってください。そして、ご自宅でお勉強に活かしてください。自分を学べる今、自分を感じていける今、

その喜びと幸せを心で感じられるあなたになってください。

愛を思つて瞑想を重ね、どんどんどんどん自分の心を解き放してまいります。ともに行こうと、そう伝えていける心を復活させてください。宇宙は待っています。肉を持たない意識達に心を向けてください。私達が帰るべきところはここだよって、あなたがあなたに優しく伝えていける喜びを実感していきましょう。私は、そんな喜びを共有していきたいです。

九六 二〇一三年が始まります。瞑想をする時間をたくさん持てるように、それぞれの生活を工夫してください。

瞑想が苦手な方も、草書体の愛が

あります。どうぞ、ご自分の瞑想に活用してください。役立ててください。そして、瞑想を続けてください。学びの主旨が理解できて、基本をしっかりと押さえているならば、瞑想を通して心に響くものがあるはずです。瞑想をしようと積極的になるはずですが、瞑想が大切なことも分かってきます。

私自身がそうだったからというわけではありませんが、学びに集う前から心が敏感だというよりも、学び始めて段々に敏感になっていくほうが、学び易いかも知れません。

鈍感なうちに、一生懸命母の反省をして、母の温もりをしっかりと感じていけるような学び方であればベストです。母の温もりをしっかりと感じていくことは絶対に欠落してはならないことです。

それが自分を真っ直ぐな方向に進めていくものだからです。真っ暗闇の中で一筋の明かりを自分の中に見出せたならばもうしめたものです。

あとは、自分の生活の中で時間を調節して、どんどん瞑想を続けていけばいいのです。一筋の明かりは、やがてしっかりと自分の中を照らす喜びと温もりの明かりへと変わっていくことを実感します。

どうぞ、効率よく学んでください。特に学びの年月の浅い方、もう一度自分の学ぶ姿勢を検証してみてください。

九七 日々、瞑想を続けていますか。先日の瞑想会でもお話があったように、たとえ五分でも、毎日瞑想をするという習慣をつけてください。

もちろん、瞑想をする前の段階の勉強があります。いわゆる学びの基本をしっかりとする、これは絶対に外せないことです。

基本をしっかりとやった上で、瞑想をしていくと効果的な学びができます。それではこの学びの基本とはいったい何でしょうか。

その基本さえしっかりと押さえておけば、瞑想を重ねていけばいくほどに、喜びが大きくなっていきます。それはごく普通のことです。しかし、大抵の方は、そのあたりで留まってしまい、何かその辺りでウロウロしているというのが現状のようです。

大変もつたいないと思います。さらにご自分を成長させていきましょ。意識の世界には限りがありません。

九八 さあ、弥生三月。これからどんどん春めいてきます。

ともに愛に向かって突き進んでいきましょう。私達の帰る母なる宇宙を目指して、喜び、喜びで突き進んでいきましょう。

宇宙からのメッセージは、これから、どんどん地球に届いてきます。

正しい方向に、心の針を合わせていくことに専念してください。お母さんに産んでもらったのは、ただそのためだけでした。

幸せいっぱい、喜びいっぱい、ゼロ歳の頃の自分の心に自分を戻しながら、自分の愚かさをどんどん心で感じていきましょう。

愛しい自分がそこにありますね。愚かだけど愛しいんです。

しっかりと受け止めていきましょう

う。受け止めていけるのは、自分だけ
です。自分以外に受け止めてくれ
るものは何もありません。

私達の中には、きちんとして受け止
めていけるだけのものが備わっている
んです。それが愛。だから、針を向
け合わせていくだけです。そうすれ
ば、喜びと温もりの中で、自分を受
け止めていきます。受け止めていけ
ばいくほどに、さらに喜びと温もり
が湧いて出てくる。この体験、どうぞ、
あなたも、そして、あなたもしてく
ださい。

そして、次元移行へ突き進んでい
く流れに乗ってください。

九九 正しい瞑想を重ねていけば、
どなたの心にも響いてくるものがあ
ります。

どなたの心にも響いてくるんで
す。何も心に響かないということは、
決してありません。

毎日、毎日、来る日も来る日も、
淡々と瞑想をしてください。

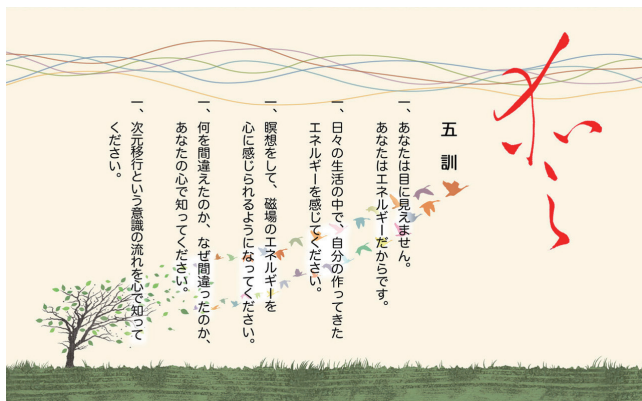
五分、十分、三十分……と時間を
延ばし、瞑想を構えてするのではな
く、自然に瞑想ができる生活を送っ
てください。

もちろん、瞑想とは正しい瞑想を
言います。正しい瞑想とは何かをま
ず、しっかりと学んで、そして、上
記のような生活を続けていきましょ
う。

自宅学習を重ねて、重ねて、そし
てセミナーに参加できるならば、で
きるだけそうしてください。あるい
は、スカイプ瞑想会に臨んでくださ
い。

この学びは、自分の心で感じてい

くことに尽きます。自分の心で体験
することが一番大切なことです。そ
の自分の心で感じたもの、たとえば
温もりであるとか、喜びであるとか、
そういうプラスのエネルギーの大き
さ、広さ、強さを増していく、そこ
に学びのポイントを持っていくって
ください。



(UTAブックさんのホームページより)

《U T A会からのお知らせ》

今年度からU T A会の会費が2,000円に変更になり、冊子等の配布はなくなりました。また、7月に予定していましたU T A会も中止になりました。これからも色々の変更があるかもしれませんので、ホームページ等で、必ず確認するようにお願いいたします。

● U T A会状況とお知らせ

1) 2013年度U T A会の4月14日現在の会員数は以下の通りです。

- ・正会員 897名(海外在住者17名含む)
- ・準会員 49名(海外在住者1名含む)

2) 今年度2013年度U T A会の開催予定

2013年度は、年4回のU T A会開催を予定しています。日程は下記の通りです。

◆第16回U T A会	5月19日(日)～21日(火) / 前日泊	5月18日(土)
申込期間	4月8日(月)～4月30日(火)	/ キャンセル連絡日5月3日(金)
◆第17回U T A会	9月29日(日)～10月1日(火) / 前日泊	9月28日(土)
申込期間	8月19日(月)～9月9日(月)	/ キャンセル連絡日9月13日(金)
◆第18回U T A会	12月15日(日)～17日(火) / 前日泊	12月14日(土)
申込期間	11月5日(火)～11月25日(月)	/ キャンセル連絡日11月29日(金)
◆第19回U T A会	2014年3月23日(日)～25日(火) / 前日泊	3月22日(土)
申込期間	2月10日(月)～3月3日(月)	/ キャンセル連絡日3月7日(金)

※ キャンセル連絡日の翌日より、キャンセル料が100%かかります。

3) 今年度2013年度からのU T A会セミナー代金に関して

すでにセミナー会場やホームページ等でお知らせしましたように、今年度からU T A会セミナー料が正規の金額に戻ります。振り込みの際は、必ず確認の上、間違いのないようにお振り込みください。よろしく、お願いいたします。

申込日程		会員料金
前日泊	夕食・朝食付	10,500円
前日泊+全日程	3泊4日8食付	30,500円
前日泊+前半1泊	2泊3日5食付	20,500円
全日程	2泊3日6食付	20,000円
前半1泊/後半1泊	1泊2日3食付	10,000円

但し、幼児・小学生の代金に関しましては、元々変更がありませんでしたので、そのままです。詳しくは、ホームページをご参照ください。

4) U T A会セミナーのインターネット配信について

会員の方は、セミナーのライブ配信を観たり、また、配信した録画データもダウンロードできるようになっています。詳細はU T Aブックのホームページをご参照ください。

5) 2012年度U T A会 会計報告

(2012年4月1日～2013年3月31日)

収入の部	収入	支出	残高
前年度繰越金	3,778,339		
正会員 年会費 916名分(3月31日現在905名)	8,913,000		
正会員 退会による返金 11名分		76,000	
小 計	12,691,339	76,000	12,615,339
支出の部	収入	支出	残高
[U T A会セミナーへ参加費用の充当] 第11回U T A会～第15回U T A会 5回分の充当額 (延べ参加人数6,475名×1泊につき500円)		3,237,500	
[U T A会セミナー参加者へ配布費用の充当] 第14回ボールペン&コースターセット他 748名分 第15回本、小冊子、皿、タオル、袋 775名分		4,093,169	
[正会員への配布物] 機関誌2冊、冊子4冊の 制作費、及び発送費		2,177,682	
[図書館、及び視覚障害者施設への寄贈] 本1冊(1995館)、音訳CD1本(100館)の 制作費、及び発送費		2,040,500	
[運営経費] ホームページ運用、通信費、発送費、 事務用品費、人件費等		665,527	
小 計		12,214,378	
2012年度 U T A会 経費合計残高	収入	支出	残高
収入の部 合計	12,691,339		
支出の部 合計		12,290,378	
合 計	12,691,339	12,290,378	400,961

(単位：円)

● 次回のU T A会セミナーのご案内

1. 開催日時と場所（遠方から参加される方のために、前日泊も設けています）

① 開催日程

◆第16回U T A会		
2013年5月19日（日）～21日（火）	参加人数	800名
2013年5月18日（土）前日泊	参加人数	300名
19日（日）	13:30～17:00（12:00開場）	
	席決めの抽選を12:45より行います。	
20日（月）	10:00～17:00	
21日（火）	10:00～12:00（会場は14:30まで使用できます）	
【申込受付期間】	2013年4月8日（月）～4月30日（月）	
【キャンセル連絡日】	2013年5月3日（金）	

※ キャンセル連絡日の翌日より、キャンセル料が100%かかります。

② 会場 琵琶湖グランドホテル

〒520-0101 滋賀県大津市雄琴6-5-1 / TEL 0775-79-2111

2. 参加申込日程と参加料金（料金にはセミナー会場使用料も含まれています）

申込日程		会員料金
前日泊	夕食・朝食付	10,500円
前日泊+全日程	3泊4日8食付	30,500円
前日泊+前半1泊	2泊3日5食付	20,500円
全日程	2泊3日6食付	20,000円
前半1泊/後半1泊	1泊2日3食付	10,000円

※ 初めて参加される方の参加料は、会員と同じです。但し、会員でない方のU T A会参加は、初回のみとさせていただきます。

※ 小学生、幼児は別料金になりますので、ホームページをご参照ください。

3. 申込方法について

① 申込期間内に、お近くの郵便局に備え付けの青い振替払込書にて、U T A会セミナー料金をお振り込みください。それで受付とさせていただきます。

② 振替払込書に、氏名、会員番号、申込日程を、必ず明記してください。布団、食事を必要としないお子様の名前、年齢も、ふりがな、必ず明記してください。

※ 複数名でお申し込みの場合は、それぞれの氏名、会員番号、申込日程を必ず明記してください。

※ 同室希望については、第11回U T A会より変更させていただきました。

[同室希望の条件]

- ① 80才以上の高齢の方で、家族等の介護が必要な方。
- ② 今現在、病気治療中で、家族または他者の介助がなければ参加の難しい方。
- ③ 小さいお子様をお連れの方。(原則として、お子様はお母様、または保護者の方と同室になります。)

[同室希望の申込]

上記の条件を満たし同室を希望される方は、参加費用を振り込む前に、久保幹事長へ電話をされて、同室希望の了解を得てください。その後、郵便局から参加費用をお振込みください。

(久保幹事長の了解を得ずに、振込用紙に記載された同室希望は無効とさせていただきますので、ご了承ください。)

[連絡先]

久保幹事長 TEL 0721-55-4666

※ 簡易ベッドについて、第8回U T A会より有料となりました。

簡易ベッドをご希望の方は、ベッド代として1泊につき500円の代金を、セミナー料に加えて一緒にお振り込みください。

なお、セミナーでベッドをご希望のされる方が増えており、用意できる簡易ベッドの数に限りがあるため、ご希望の方全員にベッドを用意することが難しくなりました。

そのため簡易ベッドのご希望は、車椅子をご利用の方、または病気等どうしてもベッドが必要な方とさせていただきます。また、ベッドのご希望に添えない場合には、その旨、ご了承いただきたく思います。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※ 会員でない方が、初めて参加される場合は、振込払込書に、氏名、ふりがな、申込日程、住所、電話番号、性別、年齢、メールアドレスを明記してください(性別、年齢等はU T A会の部屋割りに、メールアドレスは受付確認メールの送信に必要となります)。

但し、会員でない方のU T A会参加は、初回のみとさせていただきます。なお、会員でない方の参加は、今までに開催されたセミナー、勉強会等に一度も参加されたことのない、まったく初めての方のみ、受け付けさせていただきます。

※ 交通機関のご都合等で、U T A会最終日に昼食が不要の方は、「食事不要」と振込用紙に記載して下さるよう、よろしくお願いいたします。

③ 振込先（振込口座番号、入金金額は、必ず確認をお願いいたします）

口座番号：01700-5-140092

加入者名：U T A 会

④ 入金の確認ができ次第、U T A 会受付確認のメールを送信いたします。

なお、郵便振替払込書がこちらの手元に届くまでには4日間ほどかかりますので、確認メールの到着までには、一週間ほどお待ちください。また、メールアドレスをお持ちでない方へは、ハガキにてお知らせいたします。

4. キャンセルについて

- ・キャンセル連絡日までのキャンセルはメールで、また、キャンセル連絡日を過ぎてのキャンセルは、必ず、久保幹事長まで電話にて連絡をお願いいたします。
- ・キャンセル連絡日までのキャンセル料は、無料です。
- ・キャンセル連絡日を過ぎてのキャンセル料は、総額の100%です。
- ・U T A 会当日にキャンセルされる場合でも、必ず、久保幹事長まで電話連絡をお願いいたします。
(なお、久保幹事長の連絡先は最終ページに掲載しています。)

5. 参加についてのお願い

- ・参加のお申し込みは、必ず、期間内をお願いいたします。
- ・義務教育中のお子様の学校を休んでの参加、または幼児、小、中学生の保護者同伴なしでの参加は、ご遠慮ください。
- ・家族（夫、妻、舅、姑、子供…）に、U T A 会への参加を反対されている人、または家族、職場に対して嘘をついて参加することは、ご遠慮ください。
- ・参加費用を借金してU T A 会に参加することは、ご遠慮ください。
- ・ホテルや他の宿泊客に迷惑をかける人、またはU T A 会の進行を妨げるような行動を取る人は、参加をご遠慮ください。
- ・参加者同士がトラブルを起こした場合、当事者間で解決が見られるまで、参加をご遠慮ください。
- ・セミナー期間中の個人的な物品の販売は、ご遠慮ください。
- ・お子様達の過ごす「子供部屋」をセミナー会場の外に1室設けています。

セミナー中は、お子様達は全員「子供部屋」にてお過ごしいただき、保護者の方、または保護者の方々と話し合っただけで交代にするなどして、責任を持ってお子様達の面倒を見るようにしていただきたいと思っております。会場内で静かにできるというお子様もおられますが、参加しているお子様は全員、こちらの部屋のご利用をお願いいたします。（但し、小学校高学年で、自分で勉強しようとセミナーに集中されているお子様は、会場にてご参加いただいても構いません。）

第12回U T A 会より、「子供部屋」にてセミナーのライブ映像をご覧いただけるようになりました。

なお、ホテルのロビーや廊下で遊ばせるのは、ホテルに迷惑がかかりますので、ご遠慮ください。また、音の出るおもちゃは迷惑となりますので、ご遠慮ください。

6. セミナー会場の座席、及び開場時間についてのお願い

毎回、セミナー会場での座席は抽選くじで決めさせていただいておりますが、最近、抽選くじで当たった番号以外で座る方や、友達同士で抽選くじ番号以外で纏まって座る方々がいるなど、参加者の方々から苦情が寄せられております。また、セミナー会場の椅子席が足りなくなる状況が出ています。そこで、セミナーに参加される皆様へのお願いです。

① 座席について

セミナー会場での座席は、田池先生ご夫妻、塩川さん親子、U T A 会責任者の久保夫妻の6人以外の方は、必ず、抽選くじを引いて、当たったご自分の番号でお座りください。友人等、他人の番号で座るのはおやめください。また、家族で参加されている方は、抽選くじは家族で1枚引いていただき、その番号でお座りください。

なお、初参加の方の席は、こちらで「初参加者席」という紙を置いた席を用意しますので、そちらにお座りください。初参加者を紹介された方も一緒に座ってくださって結構です。

② 椅子席について

毎回、足の悪い方、ご病気の方、高齢の方、難聴の方、初参加者のために、椅子席を用意しております。セミナーは床に座って受けていただくのが基本となっております。ご事情により、長時間、床に座るのが辛い方のための椅子席ですので、健康な方は抽選くじを引かれて、床に座ってご参加ください。

③ セミナー会場の開場時間について

セミナー会場の開場は12時です。セミナーの準備等がありますので、開場時間前にセミナー会場に入るのはご遠慮ください。開場時間まで、ロビー等でお待ちください。

※ セミナーに参加されている方は、どなたも前へ座りたいというお気持ちはわかりますが、抽選で座席を決めるというルールをお守りいただきたいと思います。

なお、抽選時間前にハンカチ等で座席を取られている場合、また、12時開場前に椅子席にハンカチ等で席を取られている場合は、ハンカチ等を撤去させていただきますので、予め、ご了承ください。

7. 会場ホテルへのアクセス

・電車をご利用の方

大阪・東京方面→JR 京都駅→JR 湖西線「おごと温泉駅」下車(JR 京都駅より20分)
→琵琶湖グランドホテル (JR おごと温泉駅よりホテルの送迎バスにて5分)

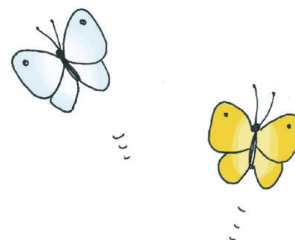
- ・自動車をご利用の方
大阪・東京方面→名神高速道路 京都東 IC →西大津バイパス仰木雄琴 IC →
国道 161 号線→琵琶湖グランドホテル（仰木雄琴 IC より 5 分）

【連絡先】

- ・お問い合わせは、U T A会サポートまでメールでお願いいたします。
メールアドレス：support@utakai.net
- ・キャンセル連絡日までの変更、及び、キャンセルは、上記U T A会サポートまで
メールで、キャンセル連絡日を過ぎての変更、及び、キャンセルは、下記まで電話
でご連絡ください。
また、同室希望のお問い合わせも、下記まで電話でご連絡ください。

幹事長 久保明子 TEL 0721-55-4666

※ U T A会のホームページ（<http://utakai.net/utakai/index.html>）でもセミナーの案内
等を掲載しています。ぜひ、ご参照ください。



※ U T A会の連絡先が下記のように変更になります。但し、電話でのお問い合わせは、
しばらくの間、上記の久保幹事長宛にお願いいたします。

また、U T A会のホームページ上からのお問い合わせや、サポートのメールアドレス
は変更になっていませんので、そのまま、お使いいただけます。

【連絡先住所】

4月～6月末

〒 589-0007 大阪府大阪狭山市池尻中 1-6-7 ひまわりハイツ 203

U T A会事務サポート 中村康一

7月以降

〒 585-0005 大阪府南河内郡河南町大宝 3-8-25

U T A会事務サポート 中村康一